

「能登復興祈願長持キエー口」

先月、能登半島地震から8ヶ月の被災地へはじめて伺い、穴水高校の子供達と一緒に「明日という名の種をまこう」という復興支援の歌を練習。文化祭で、みんなで発表会をしてきました。その移動日のような時間を利用して、輪島へも伺いました。輪島は地震だけでなく大火災もあり、かつては黒屋根の古民家が立ち並ぶ、美しい漁港だったのだろう、と想像しつつまるで戦争の焼け跡のような風景を前に涙しました。

漁港へゆくまでの道に「茅葺庵」という、復興支援のボランティアの皆さんの拠点になっている見事な茅葺の家があり、なんと偶然にも、生ゴミをゼロにする箱「バクテリア de キエー口」の発案者の松本さんの姿が！ 驚きです。松本さんとのご縁の始まりは、やはり被災地、陸前高田での「キエー口」作りだったからです。「普段はバツタリ会うなんてないのに、きっと被災地応援のキエー口の神様いますね！」と盛り上がりました。

早速キエー口作りを開始！今回のキエー口は「長持」という昔ながらの「衣装箱」を改造して作ります。「長持」は地震で被災した蔵からレスキューし、いただいてきたものだそう。天が丸く、かまぼこのようにカーブしている蓋を四角くくり抜くのは難しそうでしたが、ラッキーにも京都から支援活動に来ているという大工さんがいらしたので、太陽の光を入れ透明のアクリル板をかぶせるための作業も、周囲に丸い空気穴を開けて本体と蓋を「ちょうつがい」で繋げる作業も、松本さんのイメージどおりあっという間に完成！流石プロ！皆さんに知っていただけるよう道から見えるところにセッティング完了！

輪島に支援活動に行かれた際は是非「茅葺庵」へ立ち寄り、「能登復興祈願オリジナルキエー口」に会いに行ってくださいね。実は松本さんと、この秋10月5日から京都で開催される私の2回目の個展「母 TSUNAGU 未来」で「キエー口」のワークショップを11月4日開催することになっていました。そこでノリこそ全ての「ロックンロールエンジェル」貴子さん、大工さんが京都の方と聞き、しっかり個展にも来てもらえることに！ホントにありがたいです。京都でも「能登復興祈願のキエー口」を作りたいと思います。是非、みなさんも京都観光がてら、神奈川県生まれの「バクテリア de キエー口」のワークショップにご参加ください。